

参考資料 1

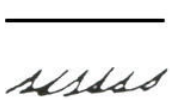
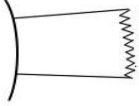
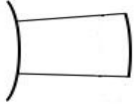
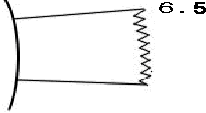
競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー カット展開図の作成方法

作成手順

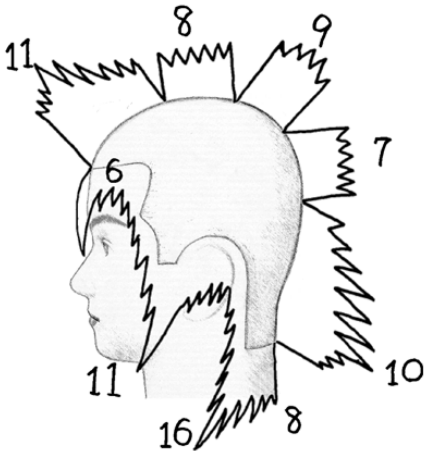
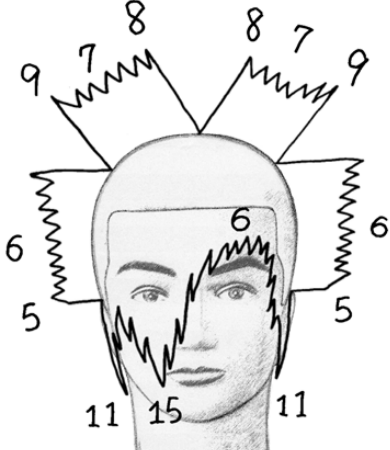
1. 競技開始後直ちに、自分が創ろうとする作品がイメージできる展開図を作成する。
2. 記入例を参考にして、仕上がりがイメージできるようにカットラインを書きこむ。
3. 指定されている箇所の仕上りの長さを記入する。
4. 仕上りのスタイルがイメージできる説明を記入する。

注意事項

1. 側面からの展開図の場合、正中線上のカットラインを書くこと。
2. 正面からの展開図の場合も、EEP 上のカットラインを書くこと。
3. 基点となるフロント・トップ・クラウン・ネープ・サイドの長さ (cm) を記入すること。

|   |   |
|---|---|
|  <p>ストレート<br/>シャギー調</p> |  <p>毛先のシャギー調</p> |
|  <p>ブラントカット</p>        |  <p>6.5</p>     |

記入例 (あくまでイメージのひとつです)

|   |   |
|---|---|
| <p>※数字の単位は cm</p>  <p>【仕上りイメージ】<br/>モミアゲは長く残し、サイドは耳が少し見える程度。</p> |  <p>【仕上りイメージ】<br/>フロントはバンダさせ、アシンメトリー。トップはスパイキー。</p> |
| <p>側面図 (基本: 正中線上のカットライン)</p>  | <p>正面図 (基本: E.E.P ライン上のカットライン)</p>  |

## 参考資料 2

### 競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー カラーリング指示図の作成方法

#### 作成手順

1. 記入例のように、所定の用紙（当日配布）の図形に番号等を書き込む。
2. カラーチャートを貼りつける。

#### 注意事項

1. 自分の創る作品に使用するすべての色味を、毛束に表現し持参すること。
2. 毛束は、下の写真のように、長さ 7 cm 程度、太さ 1 cm 程度で、バラけないように輪ゴム等で端を固定しておくこと。



記入例（あくまでイメージのひとつです）

|     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
|     |   |   |   |   |   |
| 番 号 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| 毛 束 |   |   |   |   |   |

参考資料 3

競技課題 1 ファッションヘアカット&カラー 「ネオンカラー」の参考写真

【良い例】



【悪い例】



参考資料 4

競技課題 3 パーマネントウェーブ&ヘアカット ウェーブ指示書の作成方法

作成手順

記入例のように、自分の創る作品に施す全てのパーマネントウェーブの仕上がり状態を分かりやすく表現する。

注意事項

競技当日、事前に記入したウェーブ指示書を必ず持参すること。

ウェーブの状態図の表現例

|  |       |  |               |  |      |  |            |
|--|-------|--|---------------|--|------|--|------------|
|  | ワンカール |  | ウェーブ<br>スパイラル |  | カーリー |  | ハーフ<br>カール |
|--|-------|--|---------------|--|------|--|------------|

記入例（あくまでイメージの一つです。事前記入用紙には4方向を記入してください）

|             |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|
|             |   |   |   |   |
| 番 号         | ① | ② | ③ | ④ |
| ウェーブ<br>状態図 |   |   |   |   |

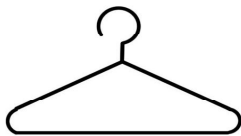
## 参考資料5

### 全競技課題共通 簡単なウィッグのボディーの作成方法

日本の競技大会において、ボディーの装着というのはいはあまり馴染みのないものです。ボディーの装着はあなたの作品を競技委員や一般の見学者によりアピールするためのものであり、技能五輪国際大会やOMC主催の各種国際大会（ジュニア部門）の舞台においては必須なのです。華やかな大会になることを期待しています。

作成手順（下記の方法とは別に、国家試験用のショルダーを使用しても構いません）

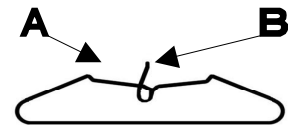
①普通のハンガー（針金にビニールを被せてあるもの）を用意します。



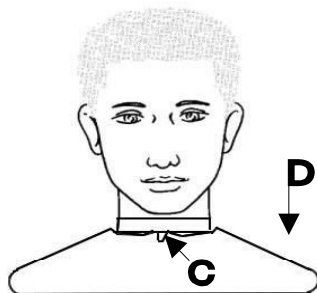
②引っ掛ける部分を反対向きに曲げます。



③Aのように、ウィッグの下のキャップに合うように平らにし、Bの引っ掛ける部分を少し矯正しウィッグの下の穴に入りやすくします。



④Cにクランプとハンガーをいっしょに差し込むことにより、しっかりと固定されます。Dの肩の部分にパットを着けたり、針金等で厚みをだしたりすると、衣裳を着せた際、より自然に見えます。また、ウィッグの場合、首が人間より細いので、安全ピンなどでシャツをとめると良いでしょう。



ダンボールを使用しても構いませんし、独自に工夫して作ってみてください。衣裳もジャケット着せたりタイを変えたりし作品イメージと合わせて、トータルで表現してください。

（参考例）

